

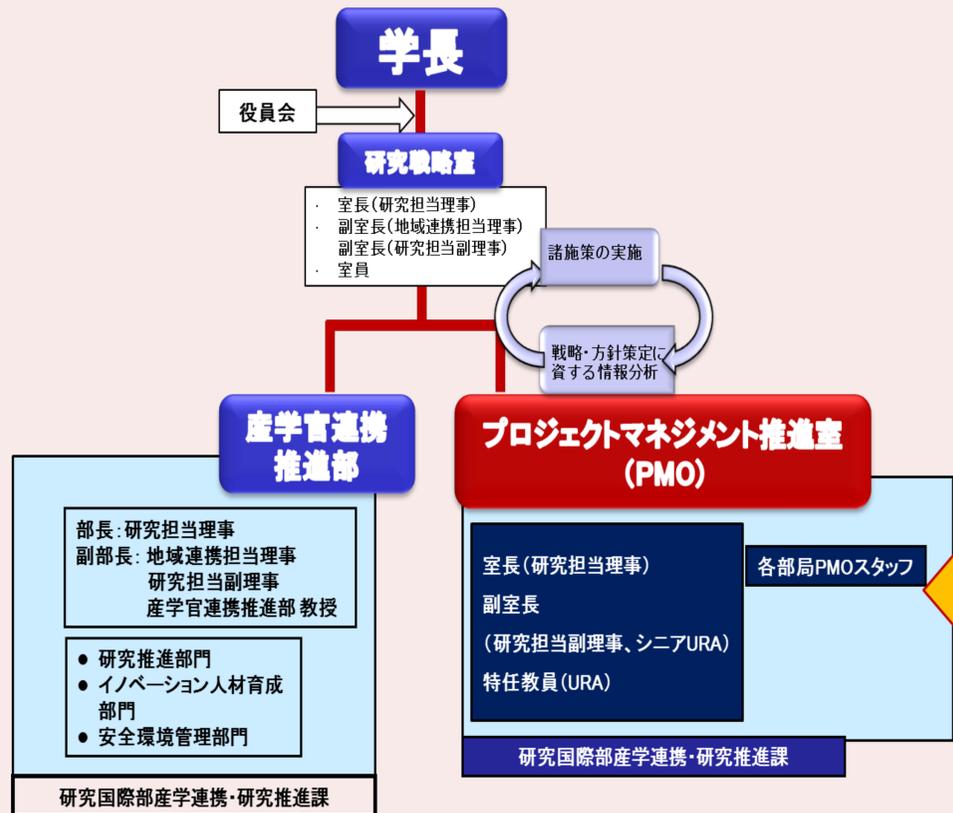


# 科研費採択率向上を目指して — 徳島大学PMOの挑戦 —

○西川 章江<sup>1</sup>・際田 弘志<sup>1</sup>・迎 純子<sup>1</sup>・角村 法久<sup>2</sup>・川瀬 勲<sup>2</sup>・野地澄晴<sup>1</sup>

1徳島大学 プロジェクトマネジメント推進室・2徳島大学 研究国際部産学連携・研究推進課

徳島大学プロジェクトマネジメント推進室 (Project Management Office, PMO) は、徳島大学の研究力強化のために、研究業務を全学的な視点で戦略的に遂行する研究戦略室のもとに、研究担当理事を室長とし、副室長、リサーチ・アドミニストレータを配置し、平成24年5月に設置された。



## PMOの設立経緯

平成21年度に文部科学省の「教育研究高度化のための支援体制整備事業」に採択、プロジェクト名「PMOを活用した教育研究支援組織の構築」

## 事業内容

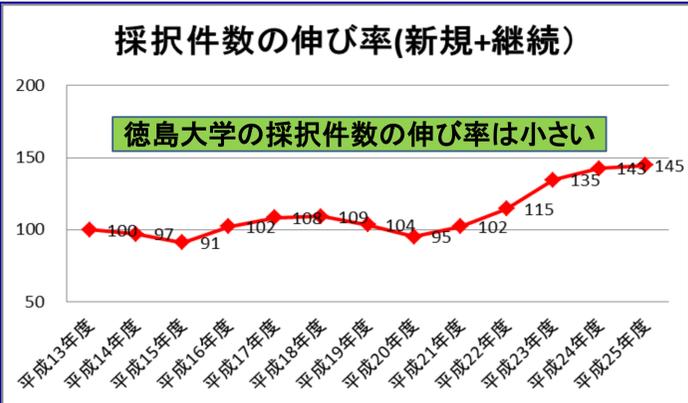
- 1. 科研費過去調書閲覧制度の導入
- 2. 科研費虎の巻の作成
- 3. 科研費の部局別説明会の実施
- 4. 共同研究先企業の満足度調査の実施
- 5. 科研費データベースの構築

## 主な業務内容

- 1. 研究戦略室が決定する研究開発プロジェクトの支援・推進
- 2. 研究開発に関する外部資金獲得の支援
- 3. 若手教員の研究開発プロジェクトの支援
- 4. 研究支援に関する能力開発プログラムの作成および実施
- 5. その他推進室の目的を達成するために必要な業務

## PMOによる科学研究費助成事業(科研費)採択率向上に関する取り組み

### 徳島大学の科研費採択件数の伸び率



※平成13年度を100とした場合

URAによる研究支援体制が不十分?  
PMO, 各部局及び事務組織との連携が不十分?

URAによる研究支援体制強化  
PMO, 各部局および事務組織との連携強化

組織的な取組  
を活性化させ  
科研費獲得に  
繋げる

### 平成24年度

- ・ 科研費調書作成支援 支援11件 (採択率81.8%)
- ・ 外部資金申請書記載の説明会・勉強会の開催等

### 平成25年度

- ・ 全学対象に外部講師による科研費獲得セミナーの開催 (参加者約170名)
- ・ 名誉教授による科研費調書のブラッシュアップ(申請24件)  
申請1件に対し、2名の査読員が担当する  
申請者と査読者間のマッチングに関しては、学内設置の教育研究者情報データベース(EDB)の業績データを基に行う。

### 科研費獲得セミナー

#### 意見・要望(アンケート一部抜粋)

- ・ これまでこのような実践的な説明は受けたことがなかった。
- ・ 内容が論理的かつ実践的であり、さらに飽きない内容であった。
- ・ 内容的には大学院生時代に指導教員に教わった手法、注意点と同じであった。ただ、古今伝授で知り得たので良かったと思う。
- ・ 科研費に限らず、外部講師を積極的に招聘していろいろなセミナーを開催していただきたい。

### ブラッシュアップ支援

#### 申請側の意見・要望(アンケート一部抜粋)

- ・ 科研費申請書に対するブラッシュアップサービスは、他大学でも取り入れられ始めている支援制度であり、今は先進的であっても、数年後には一般化したものになる。過去の科研費獲得セミナーがそうであるように、さらにその先を見据えたサービス展開ができれば、理想的だと思う。
- ・ 平等主義の支援では研究費獲得実績の底上げにはなかなか難しい、徳島大学内でまず、最初に伸ばそうとするターゲットを大学執行部と慎重に選定し、当初は多少不平等と思われるくらいの支援で、特色を出していくような支援が良いのではないかと。徳大の色が出て大型予算が取れ始めると結果として全体に波及して底上げにつながるのではないかと。

#### 査読者の意見・要望(アンケート一部抜粋)

- ・ ブラッシュアップ作業は特に若い教員、研究者に対しては必要なことである。広報をさらに活発にして、その有用性を知らしめる必要がある。
- ・ 大学に対する愛着や今後の発展を期待しているので、率直に意見が言えることがいいと思う。制度として発展していつてほしい。

